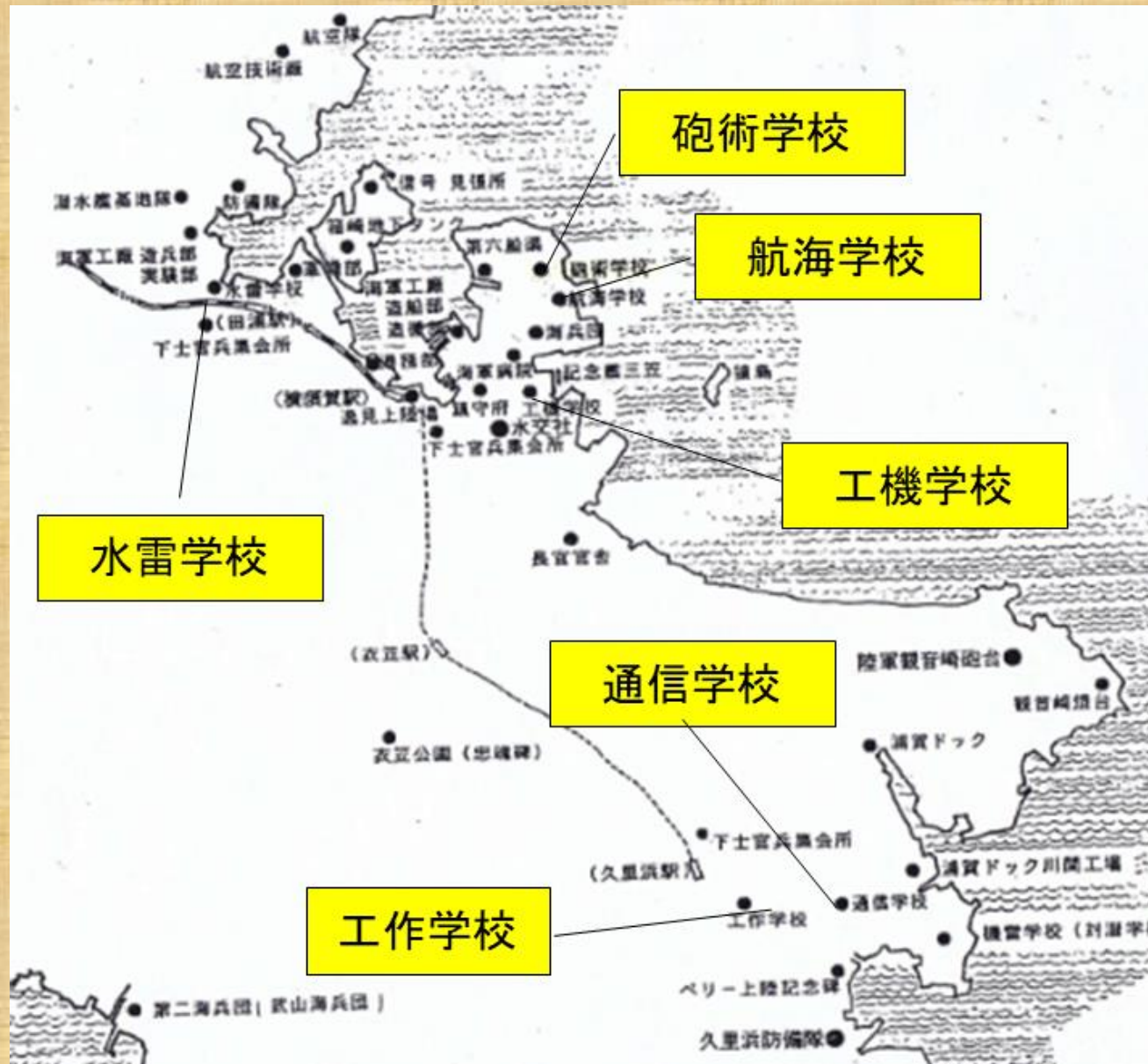


海軍軍人は一度は横須賀で学ぶ(術科教育)



●大砲をはじめ各種装備を使いこなすための士官・下士官に対する教育(術科教育)は極めて重要。これがなければ、艦は単なる鉄クズ。

●最新技術情報に裏づけられた術科の学校は全て(潜水艦の学校のみ呉)横須賀に集中。

●毎年全国から士官・下士官が横須賀に派遣され1年、半年の教育を受け、また全国に散っていった。

●豊舎や工機学校で高い造船技術等を受けた工員と同様、術科教育を受けのち民間に移り、これが日本全体の技術力を高めることに貢献したことは否定できない。

「横須賀鎮守府 田中宏己著」参照